

SmartContest 脆弱性監査結果

2022年10月4日

本資料にて脆弱性監査結果を記載したものです。

プロダクトブランド	Smart PRシリーズ
プロダクト名	SmartContest
バージョン	Ver3.0.0
データセンター	外部データセンターのハウジングサービスを利用

1 概要

2022年7月25日から2022年7月26日に、GMOサイバーセキュリティ by イエラエ株式会社にてSmartContestの脆弱性監査を実施いたしました。本資料にて監査結果を公開いたします。

2 監査結果サマリー

今回の監査では1件の脆弱性が検出されました。

検出された脆弱性は、全て対策を講じた上で8月1日から提供しております。

また、過去設置分についても指摘された項目は改修済みです。

3 監査対象について

監査対象のリクエスト名は以下の通りです。

- (管理画面)TOP
- (管理画面)TOP>パスワードを忘れた方はこちら>送信>再設定用 URL>決定
- (管理画面)TOP>ログイン
- (応募フォーム)TOP>キャンセル
- (応募フォーム)TOP>投稿画面へ
- (応募フォーム)TOP>投稿画面へ>確認画面へ
- (応募フォーム)TOP>投稿画面へ>確認画面へ>応募する
- (投稿一覧)TOP>絞り込み検索:検索する

4 検証観点について

以下の観点で監査いただきました。

検証観点	詳細
作業者によるマニュアル診断	ツール診断では検出出来ない診断項目を攻撃者の観点からすべて手動で確認します。個別では些細な脆弱性だとしても、合わさることにより大きなセキュリティリスクに繋がる可能性について監査します。
ツールによる自動診断	ツールが得意としている診断対象への網羅的な診断を行い、設定不備やセキュリティ対策漏れによるWebアプリケーションの脆弱性を監査します。

5 検出された脆弱性について

- 検出された脆弱性への対応

検出された脆弱性は、改修いたしております。

- 検出された脆弱性について

1件の脆弱性が検出されました。

検出された脆弱性	キャッシュ制御の不備
リスクレベル評価	低
リスクレベル基準	<ul style="list-style-type: none"> ● その脆弱性の単独の悪用では重大事に至らないと考えられる、軽微なシステム情報の出力など ● 現実的でない前提条件を要するなど、実際の攻撃が困難な脆弱性